

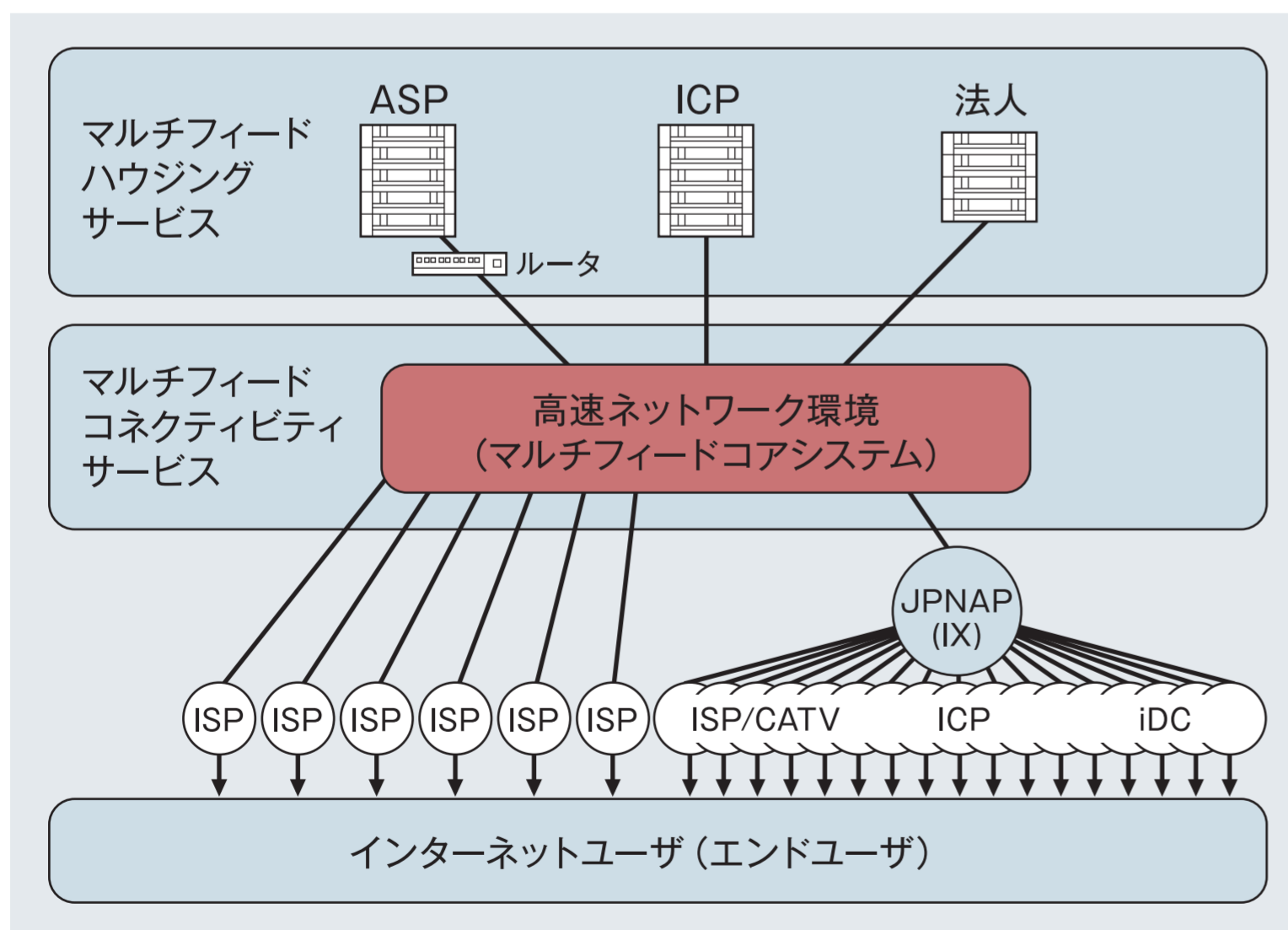
マルチフィード：大容量コンテンツ配信の仕組み

MultiFeed: Data center and Internet exchange service

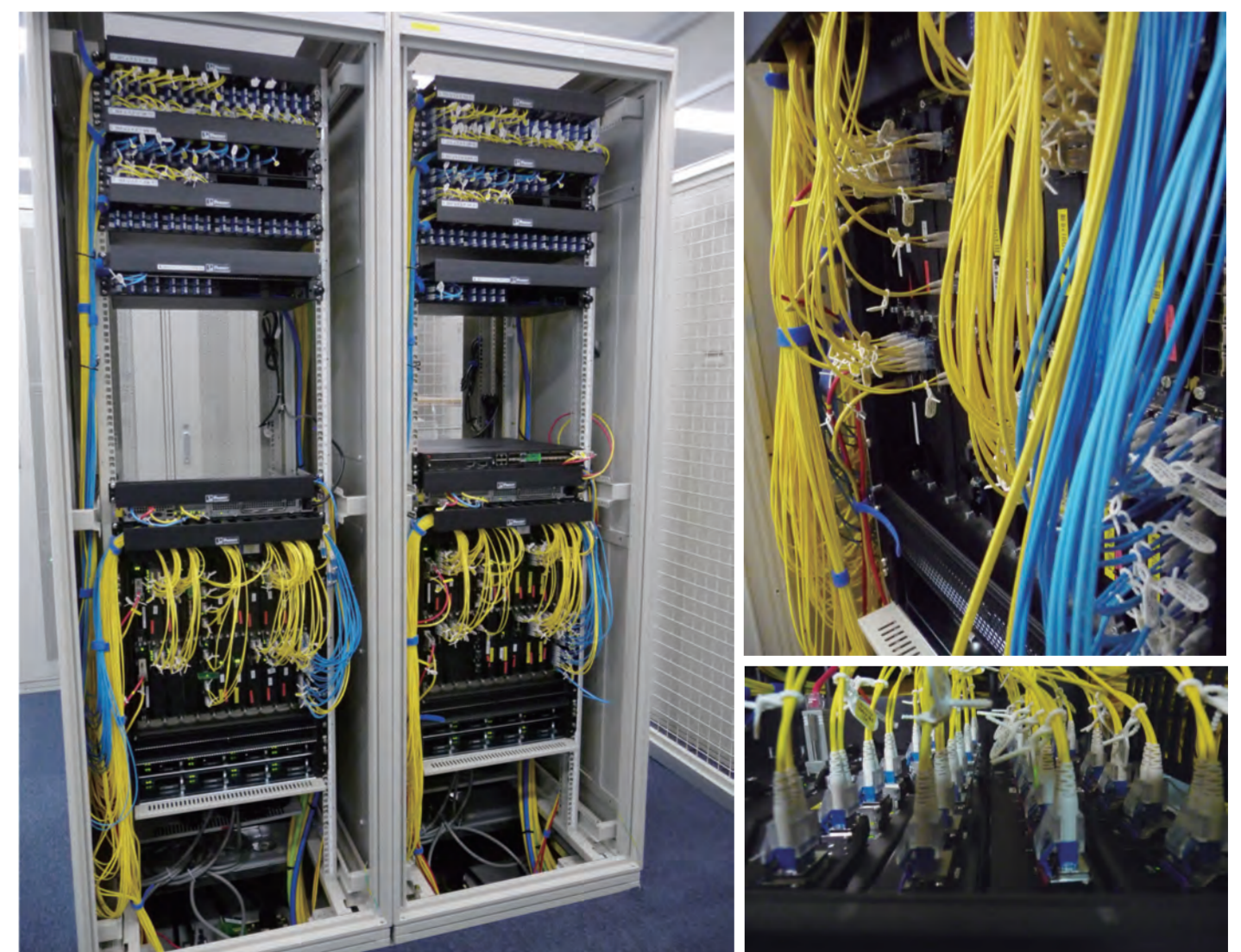
インターネット上で動画などの大容量コンテンツを効率よく配信するネットワークサービス

インターネットが広がるに従い、動画などの大容量コンテンツを効率的に配信する技術やサービスに注目が集まりました。1997年、NTT研究所らは、遅延の少ないコンテンツ配信のために、複数のインターネットサービスプロバイダと複数のコンテンツ提供者との間を、高速な通信回線で接続する「マルチフィード実験」をさきがけて行い、インターネットデータセンターの草分けとなる「マルチフィードサービス」を同年開始しました。

また、インターネットのトラフィックを相互に交換するインターネットエクスチェンジサービス (IX) を2001年から開始し、2012年には350Gbpsを超えるアジア最大級のトラフィック交換を行っています。



マルチフィードサービスの構成



インターネットエクスチェンジサービス設備 (一部)

ASP : Application Service Provider
ICP : Internet Content Provider

JPNAP : JaPan Network Access Point
ISP : Internet Service Provider

CATV : Cable TeleVison
iDC : internet Data Center